

すべてに役割と居場所がある ～職員以外の活躍によって生まれている風景～



ヤギ

特別養護老人ホームの敷地内に「ヤギ」を飼っています。

その「ヤギの糞」と「雑木林の落ち葉」を使って、たい肥を作ります。

そのたい肥を使って、花などを育てます。

その花やヤギを見て、入居さんは癒されます。

そのヤギの世話とたい肥作りなど、癒しの空間作りに尽力してくれているのは、シニア世代のボランティアさんです。



シニア世代のボランティア



入居者さん

それぞれが繋がりがあって、雑木林を守り、使っています。これが、「ゴジカラ村には様々な人がいて、居心地が良い。」の1ページです。



たい肥



自然

12 つくる責任
つかう責任



15 緑の豊かさも
守ろう



取り組みの喫茶ゴジデイ



ゴジカラ村デイサービスの新イベント、ケーキデリバリー『喫茶ゴジデイ』を行いました。日進の『ダウニークラシック』さんからケーキを配達して頂き、利用者さんたちがケーキを楽しむというイベントです。

この企画はデイサービスで最も楽しいイベントのひとつ『喫茶店』へのおかけが、コロナ禍でずっと休止したことをきっかけに始めました。少しでも利用者さんに普段のご利用とは違った雰囲気の中でケーキを楽しんでもらいたいと思い、「食べにいくことができないのなら、取り寄せ

てはどうか」と考え『ダウニークラシック』さんのご協力を得て始めたものです。イベント名はゴジカラ村デイサービスの通称「ゴジデイ」から『喫茶ゴジデイ』と命名。2021年3月から2回でスタートしました。

開催方法

月末 利用者さん&ご家族へ『月間(イベント)予定表』にて翌月の開催日を予告
利用者さんの利用曜日に『喫茶ゴジデイ』があるかを確認

月初 喫茶ゴジデイ開催のお手紙『お知らせと申込み用紙』を持ち帰り
自宅で、『ダウニークラシック』さんの「カラーメニュー表」で、
ご希望のケーキを選んでもらいます。



このお手紙とメニュー表を見てケーキを選ぶという時間が「ご家族との貴重な楽しい時間になっている。」との嬉しいご報告もありました。

★『喫茶ゴジデイ』は、利用者さんご家族の間ですっきりおなじみのイベントとして定着しています。これからもこのような企画で、皆様のたくさんの笑顔を見せていただきたいと思います。



※コロナ感染症対策を実施した上で、飲食しています。

嬉楽家菜園

グループホーム嬉楽家の庭は夏には草がたくさん生えます。秋から冬にかけては落ち葉がたくさん積もります。利用者さんと一緒に庭掃除をしています。自然の力を前に、なかなかきれいになりません。そんな時、利用者さんご家族で造園業を生業にされている方がボランティアで庭の清掃をして下さいました。何日もかけてとてもきれいにして下さいました。本当に感謝しています。以前、利用者さんご家族に声をかけさせていただき、集まった方たちで庭掃除をしたことが懐かしいです。庭がきれいになったので、嬉楽家の庭に小さな畑を作りました。頂き物のネギをとりあえず見様見真似で植えてみました。無事に育つか分かりません。どなたか一緒にこの小さな畑を手伝って下さる方を募集しています。たくさん野菜が採れることを願っています。



植えたばかりのネギです